2016. 3　Vol.29

地方独立行政法人宮城県立病院機構

# がんセンター便り

宮城県立がんセンター地域医療連携室

## 肺癌治療に免疫抗体療法が適応になりました

呼吸器内科　診療科長　前門戸（まえもんど）　任（まこと）

日頃よりお世話になっています。

呼吸器内科は肺癌を中心に診療を行っています。肺癌は脳、骨、肝臓など様々な部位に転移し、様々な症状を引き起こします。そのため内科、呼吸器科の先生だけでなく脳外科、整形外科など一見すると肺癌と関係ないと思われる先生方からも数多くご紹介いただいています。がん診療を通して地域の医療にお役に立てればと考えています。

最近の肺癌の話題では、免疫抗体療法（免疫チェックポイント阻害剤）が脚光を浴びています。これまでのがん免疫療法は、からだの免疫を高めることに重点が置かれていましたが、実際にはがんに免疫防御バリア（チェックポイント）がありほとんど効きませんでした。今回の新薬オプジーボは、このバリアを崩し、本来からだに備わっている免疫の力がフルに発揮できるようになります。当科では昨年12月にオプジーボが肺癌に承認になると、いち早く投与できるような体制を整え、２月上旬までで10人を超える患者に投与を行っています。免疫療法といっても全く副作用がないわけではなく、頻度は少ないですが免疫に関連した様々な副作用が報告されています。当科では３年前から現在まで治験を通して様々な免疫チェックポイント阻害剤の経験を積んできています。今後も副作用には十分注意して、より有効にこの薬剤を使っていきたいと考えています。

現在オプジーボは、化学療法治療後の患者に適応ではありますが、当科では初回治療から免疫チェックポイント阻害剤を投与する治験も行っています。肺癌の薬物療法は、これまで殺細胞抗がん剤とイレッサ、タルセバなどの分子標的薬が中心でしたが、これに免疫抗体療法が加わり更に治療に厚みが増しました。是非、ご相談いただければと思います。

上段左より　福原達朗・盛田麻美・渡邉香奈
下段左より　鈴木綾・前門戸任

# 肺癌のI期、II期は手術！

呼吸器外科　診療科長　髙橋（たかはし）　里美（さとみ）

2014年版の『肺癌診療ガイドライン』をみますと『臨床病期I-II期非小細胞肺癌で外科切除可能な患者には外科切除を行うよう勧められる。（グレードA）』とあります。一方、医学的な理由で手術ができない場合、放射線治療はグレードBとなっています。また縦隔リンパ節転移のないIIIA期の非小細胞肺癌に対しても外科切除はグレードC1でありかろうじて許容される治療となっています。このように肺癌に対する外科切除の適応は相当広いと考えていいと思います。

肺癌の可能性がある患者さんをご紹介頂いた場合、手術の適応があるか、手術が可能か、種々の検査（気管支鏡検査、PET、頭部MRI、肺機能検査、肺血流シンチ、高分解能CTによる腫瘍の再評価、75歳以上の方には循環器科受診など）を行いますので、手術までには2～3週間かかります。どうぞご了承下さい。

## 1．スタッフ

髙橋（山形）、阿部二郎（秋田）、岡崎敏昌（福島）、田中遼太（山形）、佐藤卓（山形）と全員東北出身なのが特色です。何がって？　ん～、粘り強いっつうか・・・

## 2．手術件数

当科の手術対象は原発性肺癌、転移性肺癌、良性肺腫瘍、胸腺腫等の縦隔腫瘍、神経鞘腫等の胸壁腫瘍、膿胸、自然気胸と多岐にわたります。このうち原発性肺癌の手術件数は、以前は宮城県内で４～５番目の数でしたがこの10年で倍増し、現在では東北地方で２番目に多い件数となっています。胸腔鏡を用いた手術を症例を選んで行っています。

## 3．当科で行っている手術以外の治療

肺癌検診の喀痰細胞診で発見される早期肺癌に対してはレーザー治療が有効な場合があります。当科では通常のレーザー（アルゴン、半導体）や高周波による治療の他に、東北地方では当院と大学病院でしか行う事が出来ない光線力学療法（PDT）も行っており、東北地方の各県から患者さんをご紹介頂いています。

進行肺癌例で気道狭窄をきたし、呼吸困難が酷い場合にはステント留置術も行っています。一時的にしろ劇的に症状が改善される場合がほとんどです。主にself expandable metallic stent（Ultraflex stent）を使用しています。

また抗癌剤の内服や点滴による治療も、ガイドラインに従い、術後の追加治療として、あるいは再発・転移に対する治療として行っています。

左より　阿部二郎・髙橋里美・佐藤卓・岡崎敏昌・田中遼太

# 消化器がん地域医療連携の会　報告

消化器内科　診療科長　野口（のぐち）　哲也（てつや）

地域医療機関との連携は、現在の医療においては、大変重要となっております。がん医療においても欠くことが出来ません。今回、初めての試みでしたが、宮城県立がんセンター　消化器がん地域医療連携の会（平成27年11月４日　江陽グランドホテル）を開催させて頂きました。

地元である名取地区、ならびに仙台地区の開業医の先生方をはじめ、各健診施設、そして、訪問看護ステーションのスタッフ等64施設、86名のご参加を頂きました。日頃よりお世話になっている先生方やスタッフ、関係者にご挨拶と日頃の感謝を伝えられ、盛会となりました。誠にありがとうございました。

当センターからは、消化器系がんの診療に携わる消化器内科・消化器外科・腫瘍内科・放射線治療科・緩和ケア内科の医師、看護スタッフ、MSW、放射線技師、検査技師等が参加しました。小野寺院長からの開会の挨拶に続き、各科毎の現在の診療体制の報告、地域連携室長　山田先生からの報告、片倉総長からの閉会の挨拶、そして懇親会が行われました。各診療科の関係者だけではなく、在宅医療に係わる訪問看護ステーションスタッフ等にも参加頂け、各患者の情報交換が出来ました。日頃より、紹介状や電話でのやり取りでしたが、直接、お会い出来き、あらためて有意義な懇親が図られ、遅くまで話題が尽きませんでした。

当センターでは、消化器系がんの診療においても、診断から治療まで総合的な集学的治療を行っております。地域連携をより密接に保ちながら、より多くのがん患者への治療に邁進して行きたいと思っております。今後とも、何卒よろしくお願い致します。

院　長
小野寺　博義　あいさつ

消化器内科診療科長
野口　哲也　あいさつ

医療局長兼地域医療連携室長
山田　秀和　連携室について紹介

会場の雰囲気

# 研究所からのお知らせ

※島　礼　研究所長が平成27年度高松宮妃癌研究基金研究助成金に採択されました。

※田沼延公 主任研究員（がん薬物療法研究部）と、奈良女子大との共同研究

「がん抑制遺伝子PP6の胎発生における役割」が、MECH DEVELOP誌に掲載されました。

# 外来新患診療体制表

平成28年３月現在

（宮城県立がんセンター）

| 診療科 ＼ 曜日 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 消化器内科 | 新患 | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 専門外来 | 肝　臓 | 肝　臓 | 上部・胆膵 | 肝胆膵・下部 | 上部消化管 |
| 血液内科 | | ● | | ● | | ● |
| 腫瘍内科 | | ● | | ● | | |
| 呼吸器内科 | | ● | ● | ● | ● | ● |
| 呼吸器外科 | | | | ● | | ● |
| 乳腺外科 | | ● | | | ● | |
| 消化器外科 | | | ● | ● | | ● |
| 整形外科 | | | ● | | ● | ● |
| 脳神経外科 | | ● | | ● | | ● |
| 頭頸部外科 | | ● | ● | | ● | |
| 形成外科 | | | ● | | | ● |
| 婦人科 | | ● | ● | | ● | |
| 泌尿器科 | | ● | | ● | ● | |
| 放射線治療科 | | ● | ● | ● | ● | |
| 緩和ケア内科 | | | | ● | | ● |

＊消化器科では、専門外来の診察日にも紹介患者さんの予約を受け付けております。お申し込みの際にご確認下さい。

診療受付時間：午前８時30分～11時00分　ＴＥＬ　022－384－3151(代)　ＦＡＸ　022－381－1169（地域医療連携室）

## 交　通　案　内

| | |
|---|---|
| ＪＲ | 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用 |
| 桜交通 | 名取駅西口から「県立がんセンター線」（なとりん号）を利用 |
| 仙南交通 | 名取駅西口から「北目上原線」（なとりん号）を利用 |
| 自家用車 | 仙台南インターからは、国道286号バイパス経由県道仙台・岩沼線を利用　（所要時間約15分） |

## 地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

○受　付　午前８時30分～午後５時15分
○ＴＥＬ　（０２２）３８１－５１５２（直通）
　　（０２２）３８４－３１５１（代）　内線１２３
○ＦＡＸ　（０２２）３８１－１１６９（地域医療連携室）


## 宮城県立がんセンター

〒981-1293　宮城県名取市愛島塩手字野田山47の１
電話（代表）(022)384-3151 FAX（企画総務課）(022)381-1168


ロゴマークの３本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。３本の柱が、患者さんを支えるという意味です。